

第27回 藤本あきのり杯

平成25年3月17日(日) 雁ノ巣レクリエーションセンターにて行われた第27回藤本あきのり杯は、和白リーグ9チームを含む全27チームが8会場でのしのぎを削った。リーグ戦開幕前の腕試しと戦力分析を兼ねたこの大会は、三苦ホーネッツ対三苦三球会という和白リーグ同士という嬉しい決勝戦を三苦ホーネッツが制した。



三苦ホーネッツ奮戦記 「3年ぶり祝優勝！」

3年ぶりの優勝を目指す三苦ホーネッツは、予選リーグ1試合目の対名島イースト戦では、序盤からの猛攻で得点を重ねて結果は13-0の大勝でした。

2試合目の対フラワーズ戦でも同様に9-1と勝利を重ね、決勝トーナメントに進みました。

決勝トーナメントの初戦は、奈多サンデーズとの対戦となり、試合は両チームともチャンスを作るものの、要所での好守により得点することが出来ずに、結果0-0と勝敗が付かなかったため、大会ルールであるジャンケンにより、5-4と僅差でホーネッツの勝利となりました。

準決勝は、クラブSPOとの対戦となり、一進一退の白熱した展開で、3-3で迎えた最終回の裏の攻撃で、ホーネッツらしい小技と足を使った攻撃によりチャンスをつくり、最後は相手ワイルドピッチで4-3のサヨナラ勝ちとなりました。

本日5試合目となる決勝戦は、三苦三球会との対戦となりました。両チームとも好守により相手に主導権を与えない、決勝戦にふさわしい試合となりました。しかし、先にホーネッツが長打で試合の主導権を握ると、少ないチャンスで得点を重ね、試合が決まったかに思われましたが、最終回に三球会の反撃で得点を重ね、試合の流れが変わりそうになりましたが、最後はエース井手投手の5連投とは思えぬ、この日最高の1球で見逃し三振をとり、結果は5-2でホーネッツが勝利しました。

最後に、本大会は過去の結果からも、三苦ホーネッツにとって相性のいい大会ではありますが、大会当日ぎっくり腰にもかかわらず強行参加の中村監督の姿にチーム全員が発奮し、予選から決勝までの計5試合をみんな満身創痕になりながらも、大熱戦を制して3年ぶりの優勝となりました。

祝勝会では、久々の勝利の美酒に酔いしれ、飲み過ぎた人も多くいましたが、今日の試合内容からも「和白リーグでは必ず優勝を奪回するぞ！」と、みんなの気持ちがさらに一つになり、今シーズンを迎えるには最高のスタートとなりました。(記事：三苦ホーネッツ 永島)



